

国語

中学校 第3学年

OS・ソフト等

- Windows
- Teams
- Forms

<単元・題材名等>

状況の中で（故郷）

ねらい

「私」が悲しい気持ちになった理由を考える活動を通して、比喩や会話などの表現を他の場面と結び付けることで、悲しい気持ちになったのは、状況によって生き方が変わってしまったからだに気づき、比喩や会話の表現を用いてまとめることができる。

主なICTの活用方法

- ・ Forms を使用して、自分の意見をまとめる。
- ・ Teams を使用して、仲間と意見交流する。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 仲間の意見を視覚的に捉え、自らの意見に反映することができる。
- ・ 自らの意見の変容を視覚的に捉えることができる。

実践の概要

- ・ 課題設定の場面では、教師がTeamsの投稿画面を使って、課題解決の必然性や課題追究の手立てを示すことで、生徒が意欲的に取り組めるようにする。
- ・ 課題追究の場面では、Formsを使うことで、本文の引用の手間を省いたり、自らの意見の推敲をしやすくしたりする。
- ・ Formsで入力された生徒の意見は、Teamsの投稿に反映できるようにする。その上でお互いの意見を読み合い、自分と同じ意見や違うけれど納得できる意見に対して、リアクション機能を使って評価させ、全員が意見交流できるようにする。
- ・ 振り返りの場面では、Formsを使って自己内評価をさせ、生徒の定着状況の見届けを行う。

生徒の学びの様子

- 導入の段階において、各自が、家庭学習を通じて考えてきた「仲間と考え合いたいこと」について、Teamsで共有し、お互いにコメントを書き込むなどして、課題意識を高めるとともに、前時とのつながりを確認することができた。
- 個人追究において、各自が書き込んだ考えをTeamsに投稿・共有することで、必要な時に仲間の考えを参考にし、考えを再構築することができた。また、自分と仲間の考えを比べて、共通のキーワードを見つけたり、考えを広げたり、深めたりするなどして、主体的に学ぶことができた。
- 終末の段階において、Formsに本時の学習のまとめを記入し提出することで、自己の学びの自覚と蓄積ができた。



指導のポイント

- 本時身に付けたい資質・能力に応じて、ノートに書く場面とICT端末を活用する場面を吟味し、学びに即した適切な活用の仕方に配慮する。
- 授業と家庭学習とをつなぐICT端末の活用の在り方と、教師の見届けの視点を明確にする。